

すこやか

第27号

2006/12/15

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

放射線科へようこそ



放射線科は何をしているところかご存知ですか？患者さんが、頭が痛いとかお腹が痛いとか体の不調を訴えて直接放射線科を受診することはありません。内科や外科など各科の医師から脳梗塞は無いかな、肺癌は無いかな、大腸癌は無いかなど相談を受けて頭部、胸部、腹部の検査を行い、病気を見つけてその結果を主治医に報告します。患者さんに直接、病状を説明することはありません。

主治医は放射線科のレポートと検査データ、臨床所見を合わせて診断し、治療を行います。いわば放射線科は各科医師のコンサルタント業をするところですよ。いかに名医と言えども病気が見つからなければ、治療のしようがないのです。

放射線科にはCT、MRIなど1台何億円もする高度医療機器が何台も揃っています。昔は苦痛を伴った検査が、現在では苦痛が無いかな、あっても造影剤の静脈注射程度の簡単な処置で診断が可能な時代になっています。今から40年ほど昔、私が学生だった頃、スタートレックという宇宙船を舞台にしたテレビドラマがありました。その宇宙船のドクターが病人をカプセル内に寝かせて全身をスキャンするだけで病気の診断を行う場面が強く印象に残っています。科学が進歩してこの様な時代が早くくれば良いのにと考えたことがありましたが、いまや現実になりつつあります。乳房の小さなしこりに気づきながらも癌と診断されるのが怖くて、夏みかん位の大きさになるまで我慢していた患者さんを知っています。現在では癌を含めてたいの病気は早期発見することで完治します。みなさんも年1回の定期検診と体の不調を感じたらすぐに掛かり付け医を受診し、病気の無い快適な人生を送ってください。皆さんの掛かり付け医のうしろには頼もしい放射線科が控えています。



放射線科主任部長 玉岡紅一

❖ リハビリテーション室の紹介 ❖

理学療法士4名、言語聴覚士1名、受付・助手2名の小さな所帯ですが歴史は国内でも古く、昭和39年4月、理学診療科として開設され、昭和41年に第1号の理学療法士183名中の1人が当室から誕生しました。昭和58年5月新病院移転とともにリハビリテーション室と名称が改められ現在に至ります。開設当時からの当室の理念は患者の皆様楽しく喜んでリハビリテーションをしてもらうこと、技術を高めることです。この理念を達成するために骨・関節・脳神経の障害だけでなく、糖尿病の運動療法や呼吸障害の運動療法など、専門の資格を取得して対応しています。現在、日本糖尿病療養指導士を1名が呼吸療法認定士を3名が取得し、言語聴覚士は日本高次脳機能障害学会、日本神経心理学会の評議委員を務めています。

リハビリテーションは手足の機能回復だけでなく、ことばによるコミュニケーションの障害も対象としています。ことばによるコミュニケーションの問題は脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など多岐に渡り、小児から高齢者まで幅広く現れます。当室では臓器別の療法でなく全方向からヒトとして診ていくことに力を注いでいます。

最近、新聞・テレビなどでリハビリテーションの保健医療が切り捨てられていることが話題となっていますが、患者様同士が笑いながら励ましあい、機能の回復を図ることができる雰囲気づくりをスタッフ一同目指していきたいと思っております。



～ 風 邪 ～



風邪の原因はなに？

風邪の原因のほとんどはウイルスですが、200種類以上のウイルスの存在が知られています。このウイルスが身体に入ると、特に身体の抵抗力が弱っているときには発病します。



どうやって感染するの？

風邪をひいた人と約1メートル以内の距離に近づいたときに、せきやくシャミ、会話などによる飛沫(しぶき)で感染する場合があります。もうひとつは、階段の手すりや電車のつり革、ドアノブなどの環境表面や人の手にウイルスがついているときに、それらに触って、その手で自分の鼻や口、目を触って感染する場合があります。



風邪の予防方法で効果的なのは？

- 外出後やトイレの後などに**手を洗ったり、顔を洗う習慣**はとても大切です。手洗いをするときには洗い残しがちになる指の間や指先まで丁寧に洗いましょう。
- セキやくシャミなどの風邪症状に気づいたら**マスク**を常時着用し気道粘膜が冷えたり乾燥したりしないようにしてください。(これは気道の粘膜に細菌やウイルスが入ってきたら排除しようとする働きがあるのでこれを助けるためです)
- 身体の抵抗力を高めるために、十分な栄養や睡眠をとるようにつとめたほうが良いでしょう。

人間ドックのご案内

ご自身の健康管理のため、年に一度の人間ドックのご利用をお勧めいたします。

当院の人間ドックでは受診者ごとに検診データを蓄積し、それをもとに担当医師が健康指導を行っております。また、検診結果が要精密検査や要治療となった場合でも、当院の各診療科をご紹介させていただくことにより、早期の治療が可能になっております。

ご利用に当たって、伊丹市の国民健康保険加入者の方には、2分の1から最高4分の3までの助成制度があります。また、健康保険組合加入者の方も助成制度がありますので、ご確認の上お申し込みください。

コース、利用料金は、次のとおりです。

- ① 1泊2日のホテル泊 昼・夕食付 63,000円(消費税込)
- ② 0泊2日の日帰り 昼食付 47,000円(//)
- ③ 日帰り 38,000円(//)

※①・②は月火・水木コースの2種類。③は月～金の各曜日のご利用が可能です。

※平成18年12月からマンモグラフィ検査がオプション検査に追加されました。

お申し込み、お問い合わせは、

1階人間ドック棟 人間ドック受付まで

電話番号 072-777-3773 (人間ドック担当 内線2583)

●● 院外処方せん相談コーナーから ●●

「院外処方せん相談コーナー」では保険薬局の紹介や保険薬局での待ち時間を短縮するため院外処方せんを事前に保険薬局にFAXで知らせる無料FAX送信サービスを行っております。また、このたびカード1枚でかかりつけ薬局に簡単な操作でFAX送信ができるFAX送信機『ENIFAX』を2台設置しました。

※院外処方せんの有効期限は発行日を含めて**4日間**ですのでご注意ください。期限が過ぎると処方せんの再発行が必要になり費用は自己負担になります。



☆ 医師の人事異動がありました。

採用		退職	
(18年10月1日)		(18年7月31日)	
眼科 医 長	辻 川 薫	内 科 医 長	辻 井 卯 衣
		(18年9月30日)	
		放射線科 副 医 長	上 田 和 光
		眼 科 副 医 長	早 井 香 織

～ 保険医療機関では毎月、患者様に保険証の提示をお願いしております。月初めには初診受付で保険証の提示、確認にご協力くださいますようお願いいたします。～